

平成27年度開催公開講座一覧(全24講座)

資料2

担当	講座名	講座内容	担当講師	開催日	会場	募集人数	参加人数
公開講座委員会	現代社会と理工学	工学と理学をもとに現代の最先端技術は飛躍的な進歩をとげ、社会や生活のあらゆる場面で活用され、私たちの生活に大きな影響を及ぼしています。現代社会が真に豊かでゆとりあるものにするためにはどのような科学技術が必要か、理工学が拓く未来社会と私たちとの関わりや将来展望について考えます。	小林 憲正 (横浜国立大学 大学院工学研究院 教授) 廣澤 渉一 (横浜国立大学 大学院工学研究院 教授) 片寄 祐作 (横浜国立大学 大学院工学研究院 准教授) 島 圭介 (横浜国立大学 大学院工学研究院 准教授) 武田 穰 (横浜国立大学 大学院工学研究院 准教授) 西 佳樹 (横浜国立大学 大学院工学研究院 准教授) 前田 雄介 (横浜国立大学 大学院工学研究院 准教授) 松澤 幸一 (横浜国立大学 大学院工学研究院 准教授) 金子 信博 (横浜国立大学 大学院環境情報研究院 教授) 根上 生也 (横浜国立大学 大学院環境情報研究院 教授)	2015/9/4 (金) 2015/10/9 (金) 2015/11/6 (金) 2015/12/4 (金) 2016/1/8 (金)	横浜ワールドポーターズ 6階 イベントホールB (〒231-0001 横浜市中区新港2-2-1)	150	939
工学研究院	エンジニアのための実験講座① — 腐食防食の評価・計測技術 —	本講座では、腐食防食の評価に用いられる電気化学的な計測技術に焦点を当て、その原理と具体的な測定方法について講義と豊富な実験により習得いただけます。講座内容には、電気化学及び腐食防食工学の基礎的内容を把握されていることを前提とした部分もあります。	岡崎 慎司 (横浜国立大学 大学院工学研究院 教授) 横山 隆 (横浜国立大学 大学院工学研究院 講師) 伊藤 大輔 (横浜国立大学 大学院工学研究院 特別研究教員)	2015/6/18 (木) 2015/6/19 (金)	講義：理工学部講義棟C101 実験：化工・安工棟、リカレント教育実験棟	12	12
工学研究院	エンジニアのための実験講座② — ステンレス鋼の腐食防食基礎とその対策技術 —	本講座は、ステンレス鋼の腐食とその対策技術など多岐にわたる学際的な内容を提供いたします。また腐食事例を紹介しながら講義・実験を行いますのでより理解を深めていただくことができます。なお、受講に当たっては、本内容に関連した本学主催の「エンジニアのための実験講座①」をあらかじめ受講されることをお勧めします。	梶村 治彦 (新日鐵住金ステンレス株式会社 研究センター フェロー) 岡崎 慎司 (横浜国立大学 大学院工学研究院 教授) 横山 隆 (横浜国立大学 大学院工学研究院 講師) 伊藤 大輔 (横浜国立大学 大学院工学研究院 特別研究教員)	2015/7/16 (木) 2015/7/17 (金)	講義：理工学部講義棟C101 実験：化工・安工棟、リカレント教育実験棟	12	9
教育人間科学部	江戸の芝居小屋を楽しむ	江戸の芝居小屋（歌舞伎の劇場）とは、どんな場所だったのでしょか。至近距離にいる男女の見物たちが、前から、横から、後ろから役者たちに熱い視線を送り、観客と役者が一体となった独特の身体空間が生まれる。そんな「親密空間」としての江戸の芝居小屋のあり方をわかりやすく示し、楽しく見つめてみたいと思います。	川添 裕 (横浜国立大学 教育人間科学部 教授)	2015/6/20 (土)	みなとみらいキャンパス	30	27
推進女性共同参画	ライフキャリア講座 — 将来の仕事と生活について考えよう —	ライフキャリアは、職業としての仕事だけではなく、それ以外の生活（家庭生活、地域活動、趣味など）も含む「生涯にわたる生き方」のことをいいます。本講座は、神奈川大学と本学で開講しているライフキャリアの講義の一端にふれた後に、参加者同士で話し合い、自分の望むライフキャリアや今後の方向性について考えます。	有光 直子 (横浜国立大学 大学院環境情報研究院 教授) 荻野佳代子 (神奈川大学 人間科学部 教授) 鈴木 紀子 (横浜国立大学 男女共同参画推進センター 特任教員)	2015/6/27 (土)	教育文化ホール 中集会室	40	29
理工学部	第9回 海洋空間のシステムデザインカップ ひれ推進コンテスト	本コンテストでは、高校生に海や船・物造りの魅力を伝えるために講義とコンテストを実施します。まず7/20(月(海の日))に船や魚のひれに関する公開講座として講義を実施します。その後、8/22(土)までに各高校の参加チームにひれ推進模型を製作していただき、これらを大型実験水槽にて走らせ、そのスピードを競うコンテストを行います。なお、講義の内容は以下の通りです。「(1) 船はどんなふうに浮くの？ (2) 船はどうやったら速く走れるの？ (3) ひれ推進模型の制御について」	鈴木 和夫 (横浜国立大学 大学院工学研究院 教授) 村井 基彦 (横浜国立大学 大学院環境情報研究院 准教授) 川村 恭己 (横浜国立大学 大学院工学研究院 教授) 平川 嘉昭 (横浜国立大学 大学院工学研究院 准教授) 樋口 文浩 (横浜国立大学 大学院環境情報研究院 准教授) 高山 武彦 (横浜国立大学 大学院工学研究院 特別研究教員)	2015/7/20 (月祝) 2015/8/22 (土)	船舶海洋工学棟3階 講義室、大型実験水槽	60	156 (2回合計)
環境情報院	野外の自然研究と環境問題 — 大学での研究を体験する —	自然環境研究の最前線の状況について講義を行ったあと、簡単な実習を行います。大学でどのような研究が行われているのか、それが環境問題の解決や学問の進歩にどのように貢献しているのか、を体験的に知ることができます。講師は全員が大学院 環境情報学府と理工学部建築都市・環境系学科地球生態学EPに所属しています。大学や大学院などに進学希望の方の参加も可能です。	小池 文人 (横浜国立大学 大学院環境情報研究院 教授) 松田 裕之 (横浜国立大学 大学院環境情報研究院 教授) 及川 敬貴 (横浜国立大学 大学院環境情報研究院 准教授) 中村 達夫 (横浜国立大学 大学院環境情報研究院 准教授) 他同研究院教員2名	2015/8/5 (水) 2015/8/6 (木)	総合研究棟S112実験室	10	9
都市イノベーション研究院	都市交通最前線 サマースクール — モビリティ・デザイン 演習体験 —	都市交通計画及び交通工学に携わる行政職員やエンジニア、都市交通計画及び交通工学を学ぶ若手研究者や学生を対象に、モビリティ・デザインの演習体験を通して、実践的な考え方を学んでいただきます。	中村 文彦 (横浜国立大学 大学院都市イノベーション研究院 教授(理事)) 田中 伸治 (横浜国立大学 大学院都市イノベーション研究院 准教授)	2015/8/5 (水) 2015/8/6 (木) 2015/8/7 (金)	土木工学棟201	25	19
機器分析センター評価	高校生のための分析入門講座 「テクノワールド 2015」 — 最先端の分析機器を体験しよう —	大学の研究で用いる最先端の分析機器の操作体験をしましょう。分析装置の原理を理解し、身近なものを対象に自分で操作して観察・分析を行います。最先端の研究機器を体験してみましょう！！ 実習予定テーマ：透過電子顕微鏡(TEM)、走査電子顕微鏡(SEM)、電子線マイクロアナライザー(EPMA)、有機物質の分析(核磁気共鳴装置・NMR/質量分析装置・MS)、イメージアナライザ	荻野 俊郎 (横浜国立大学 大学院工学研究院 教授) 吉原美知子 (横浜国立大学 機器分析評価センター 准教授) 中川 哲也 (横浜国立大学 大学院工学研究院 研究教員) 近藤 正志 (横浜国立大学 機器分析評価センター 技術専門職員) 根岸 洋一 (横浜国立大学 機器分析評価センター 再雇用職員) 石原 晋次 (横浜国立大学 機器分析評価センター 技術専門職員) 高梨 基治 (横浜国立大学 機器分析評価センター 技術職員) 田中陽一郎 (横浜国立大学 機器分析評価センター 技術職員)	2015/8/5 (水)	機器分析評価センター	25	10

平成27年度開催公開講座一覧(全24講座)

資料2

担当	講座名	講座内容	担当講師	開催日	会場	募集人数	参加人数
工学研究院	実践機器分析基礎講座(1) 機器分析を利用した有機分子構造解析の実際 -機器の選択とアプローチ-	分子構造解析は物質の性質を考える上で極めて重要なアプローチです。本講座は分子構造解析の初心者や実務者を対象とし、『有機分子構造解析における分析機器の選択』ができるように、高速液体クロマトグラフィー(HPLC)、質量分析法(MS)、および核磁気共鳴法(NMR)を中心に基礎講義および実習を交えて学習します。	川村 出 (横浜国立大学 大学院工学研究院 准教授) 中川 哲也 (横浜国立大学 大学院工学研究院 研究教員) 石原 晋次 (横浜国立大学 機器分析評価センター 技術専門職員)	2015/8/27 (木) 2015/8/28 (金)	機器分析評価センター	8	6
工学研究院	実践機器分析基礎講座(2) 初心者のための機器分析 - X線、電子線を用いる固体試料の観察及び分析 -	本講座は固体試料の観察及び分析の初心者や実務者を対象とするものです。固体試料の観察でよく用いられる、X線回折(XRD)、走査電子顕微鏡(SEM)、透過電子顕微鏡(TEM)および電子線マイクロアナライザー(EPMA)について、原理や得られる結果、試料調整方法等を紹介するとともに、これらの装置を用いて実習を行います。	梅澤 修 (横浜国立大学 大学院工学研究院 教授) 岡崎 慎司 (横浜国立大学 大学院工学研究院 准教授) 横山 隆 (横浜国立大学 大学院工学研究院 講師) 伊藤 大輔 (横浜国立大学 大学院工学研究院 特別研究教員) 吉原美知子 (横浜国立大学 機器分析評価センター 准教授) 近藤 正志 (横浜国立大学 機器分析評価センター 技術専門職員) 根岸 洋一 (横浜国立大学 機器分析評価センター 再雇用職員)	2015/9/14 (月) 2015/9/15 (火)	機器分析評価センター 先端科学高等研究院棟	16	13
情報基盤センター	数値計算プログラミング体験入門 -フリーソフトウェアScilabで楽しむ数値計算プログラミング-	Scilabは、フランスの国立研究機関INRIAで開発された計算ソフトウェアで、誰もが無償で入手でき、しかも扱いが簡単な優れたソフトウェアです。本講座では、このScilabを使って、受講者自身で簡単な計算プログラムを作成することにより、その楽しさを体験して頂くことを目的とします。	志村 俊也 (横浜国立大学 情報基盤センター 講師)	2015/9/5 (土)	情報基盤センターPC教室	30	21
教育人間科学部	「伝わる文章」の書き方教室	受講者自ら書いた文章を受講者同士で講評し合うとともに、元新聞記者の講師が改善点などを指導する実践的講座。予備知識のない読み手にも理解しやすい、「伝わる文章」の書き方を学びます。	高橋 弘司 (横浜国立大学 教育人間科学部 准教授)	2015/9/7 (月) 2015/9/14 (月)	みなとみらいキャンパス	12	11
工学研究院	—講義・実験を通じて学ぶ— 材料の劣化とその対策	材料は、自らあるいは環境との相互作用によって劣化し、莫大な損失を生じます。本講座では、実際上の問題点をふまえ、材料の劣化とその対策について平易にかつ学問的な講義を行います。また講義の内容の理解を高め、かつ具体的に体得させるために、実験、実習および演習を併せて行います。	朝倉 祝治 (横浜国立大学 名誉教授) 関根 和喜 (横浜国立大学 安心・安全の科学研究教育センター 客員教授) 東田 賢二 (九州大学 大学院工学研究院 教授) 石井 正義 (元・日石エンジニアリング技術本部技術センター 部長) 高橋 宏治 (横浜国立大学 大学院工学研究院 教授) 岡崎 慎司 (横浜国立大学 大学院工学研究院 准教授) 横山 隆 (横浜国立大学 大学院工学研究院 講師) 笠井 尚哉 (横浜国立大学 大学院環境情報研究院 准教授) 伊藤 大輔 (横浜国立大学 大学院工学研究院 特別研究教員) 古池 仁暢 (共同研究推進センター 特任教員)	2015/9/7 (月) ~ 2015/9/11 (金)	講義：理工学部講義棟C201 実験：化工・安工棟、エネルギー棟、リカレント教育実験棟	100	23
工学研究院	セラミックス材料の開発と利用のための基礎と実際	セラミックスをこれから学ぼうとする社会人技術者を対象として、セラミックス材料を構成する原子や分子の性質、材料の物理的、化学的性質について述べ、その材料の成形方法と焼結方法、結晶構造および電気的、力学的特性に関して解説します。また、諸特性を知るのに重要な状態図の見方を述べるとともに、演習も行います。	岡崎 慎司 (横浜国立大学 大学院工学研究院 准教授) 横山 隆 (横浜国立大学 大学院工学研究院 講師) 伊藤 大輔 (横浜国立大学 大学院工学研究院 特別研究教員)	2015/9/17 (木) 2015/9/18 (金)	講義：理工学部講義棟C101室	20	2
教育人間科学部	イタリア音楽紀行 —サルデーニャ島の音楽と文化—	サルデーニャ島はイタリアのなかでも独特な文化を誇る地域で、その音楽も、羊の声をまねたという男声四重唱(カント・ア・テノーレ)や世界に類をみない三管の葎笛(ラウネッダス)などユニークなものが多くあります。本講座ではサルデーニャ島の代表的な歌や楽器を、映像や音源とともにご紹介します。	金光真理子 (横浜国立大学 教育人間科学部 准教授)	2015/9/19 (土)	教育人間科学部5号館 (音楽棟) 103室	70	59
教育人間科学部	小紋のきものの着装を通じて学ぶきもの文化	カジュアルなおしゃれ着である小紋のきものの着装を含むワークショップと講義を通して伝統文化であるきもの文化について学んでいただけます。	藤本 弥生 (横浜国立大学 教育人間科学部 教授)	2015/10/3 (土)	教育人間科学部講義棟 7号館310室	10	12
国際社会科学研究院	私たちの暮らしと法	病気休職、国際離婚など私たちの暮らしの上で起こりうる法律問題について法律の専門家がわかりやすく解説します。	石崎由希子 (横浜国立大学 国際社会科学研究院 講師) 他	2015/10/10 (土) 2015/10/17 (土) 2015/10/24 (土)	教育文化ホール 中集会室	70	130 (3回合計)

平成27年度開催公開講座一覧(全24講座)

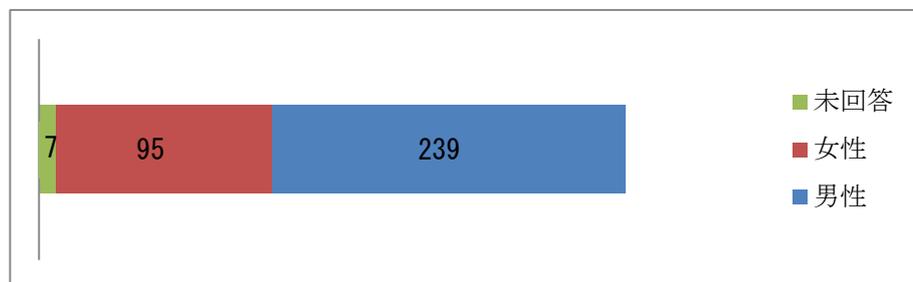
資料2

担当	講座名	講座内容	担当講師	開催日	会場	募集人数	参加人数
経済学部	データで見るグローバル経済の今 - 産業連関分析で見る暮らし、環境、貿易の姿 -	経済活動は産業間、地域間などで繰り広げられる膨大な取引関係の集合体として捉えることができます。その相互関係を縦横の表の形に表現した統計は産業連関表と呼ばれ、世界各国のみならず日本の各県でも作成されています。本講座では、神奈川県、日本、そして国と国との関係を題材に、この産業連関表を駆使することにより見えてくる経済活動の様々な姿をご紹介します。	居城 琢 (横浜国立大学 国際社会科学研究院 准教授) 氏川 恵次 (横浜国立大学 国際社会科学研究院 教授) シュレスタ・ナゲンドラ (横浜国立大学 経済学部附属アジア経済社会研究センター 特任教員)	2015/11/6 (金) 2015/11/13 (金) 2015/11/20 (金)	経済学部新講義棟101教室	120	196 (3回合計)
教育人間科学部	気持ちよいストレッチと身近な環境でできる体力増進運動	身近な環境でも、工夫次第で多様な運動を行うことができます。本講座では、健康・体力増進のための目標の立て方とそれに合わせたトレーニングプログラム立案の方法を、講義と具体的な運動の行い方の紹介の実技講習を行いたいと思います。	伊藤 信之 (横浜国立大学 教育人間科学部 教授)	2015/11/7 (土)	教育文化ホール 中会議室(予定)	40	29
環境情報研究院	高齢社会における「つながり」	人と人のつながりが希薄化している現代社会において、それらを再生したり、新たに創り出そうとする取り組みがあります。このような実践的な取り組みの背景にある高齢社会の状況や具体的な取り組みの内容などを解説し、今後の超高齢社会のあり方について考えます。	安藤 孝敏 (横浜国立大学 大学院環境情報研究院 教授) 他	2015/12/5 (土)	教育文化ホール 中会議室	70	53
統合的海洋教育・研究センター	神奈川の海を知る 2015	神奈川県は東京湾と相模湾に隣接し、多くの海洋関連企業と研究開発機関が立地する一方、湘南海岸という日本有数の観光と海洋レジャー地域があります。海県神奈川の県民に身の周りがある海についてのリテラシーを高めてもらうため、現代日本の海洋政策のキーワードである総合的海洋管理の視点から市民講座を開設します。	中原裕幸 (横浜国立大学統合的海洋教育・研究センター 教授) 赤司淳也 (横浜港埠頭株式会社 統括理事) 宮本卓次郎 (横浜国立大学統合的海洋教育・研究センター 教授) 嶋田昌子 (NPO法人横浜シティガイド協会 理事) 田代省三 (海洋研究開発機構 工学センター長代理)	2015/10/14 (水) 2015/10/28 (水) 2015/11/11 (水) 2015/11/25 (水) 2015/12/9 (水)	一般社団法人横浜みなとみらい21 プレゼンテーションルーム (横浜市西区みなとみらい2-3-5 クイーンズスクエア横浜 クイーンモール3階)	80	258 (5回合計)
リスク共生社会創造センター	リスク共生社会の視点から原子力政策を考える	設立記念シンポジウムとして、新センターの紹介に加え、特別講演とパネルディスカッションを企画いたしました。特にパネルディスカッションでは、社会的に関心の高い原子力政策をテーマに広い視点で議論を行なう場を用意いたしました。	松岡猛 (日本学術会議 総合工学委員会 委員長) 宮野廣 (法政大学 客員教授) 三宅淳巳 (横浜国立大学 大学院環境情報研究院 教授) 宇崎裕美 ((有)エンカツ社 代表取締役社長) 鈴木雅貴 (横浜国立大学 大学院国際社会科学研究院 准教授)	2015/11/30 (月)	メディアホール	50	52
リスク共生社会創造センター	気候変動・地球温暖化への取り組みとエネルギーのありかたー国際交渉と原子力発電の位置づけを考えるー	地球温暖化への取り組み、特にCOP21の成果をどのように評価するのか、また温室効果ガス排出削減に大きな意味を有する原子力発電の位置づけをどう捉えるのかについて、講演とパネルディスカッションを企画しました。	南川秀樹 (横浜国立大学 リスク共生社会創造センター 客員教授) 奥真美 (首都大東京 都市教育学部 教授) 竹内純子 (NPO法人国際環境経済研究所 理事・主任研究員)	2015/12/24 (木)	横浜情報文化センター 情文ホール (横浜市中区日本大通11番地)	200	73

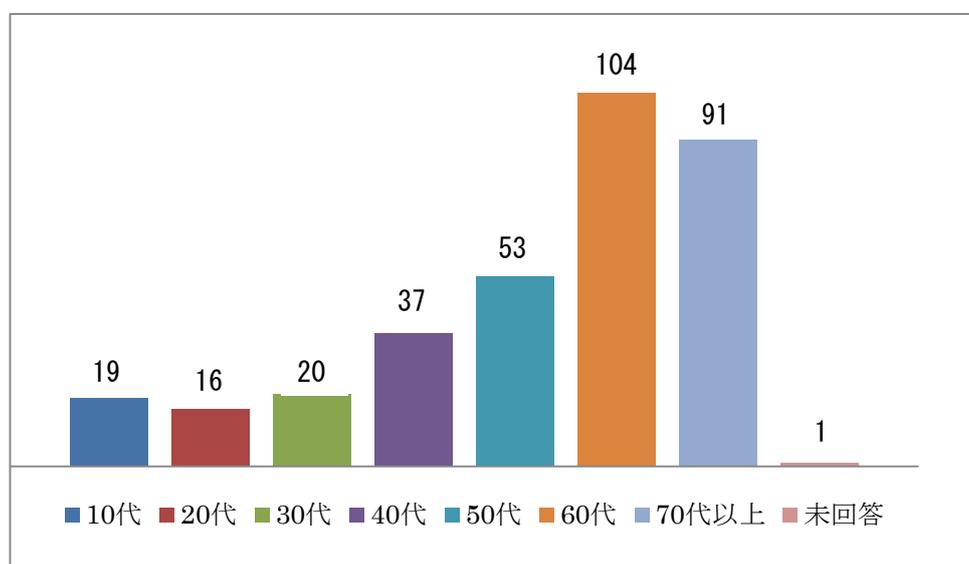
※講座名が灰色の講座は、アンケートにご協力いただいた講座

各部局開催の公開講座 参加者アンケートの集計結果

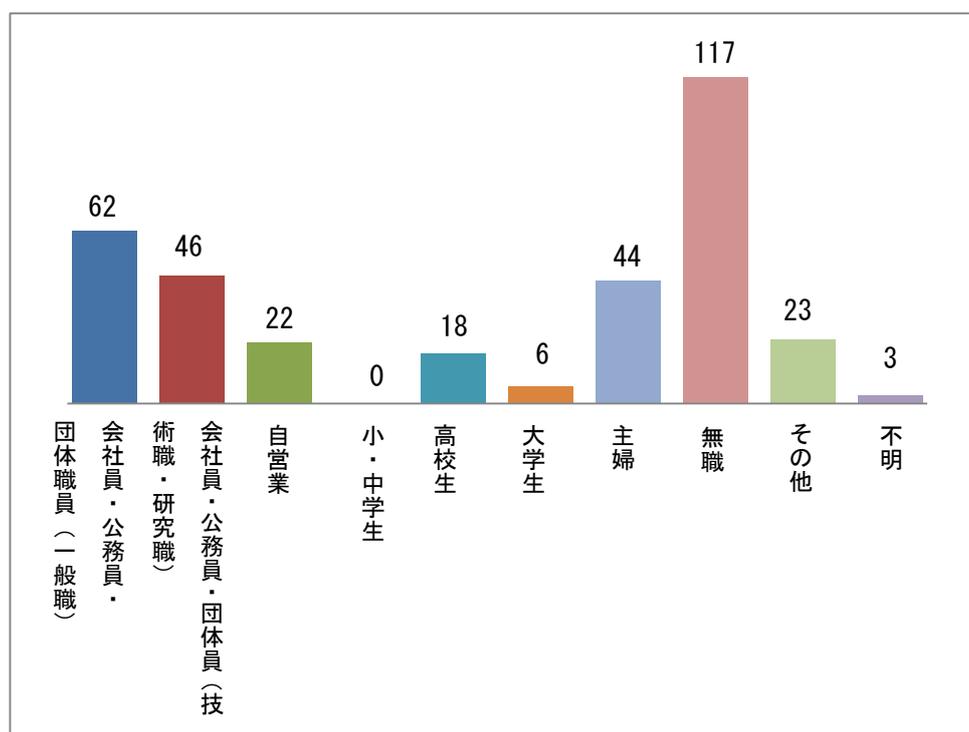
性別



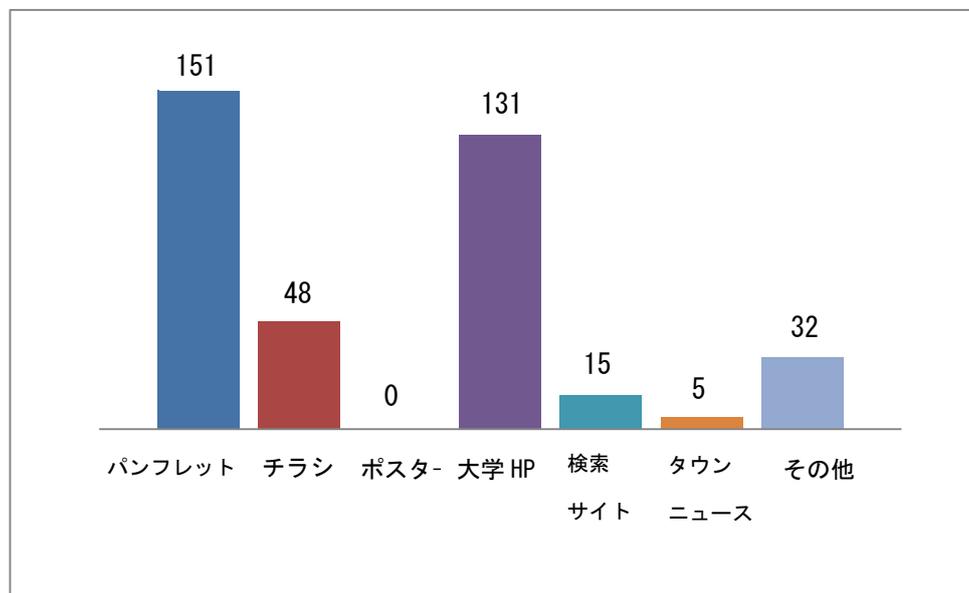
年代別



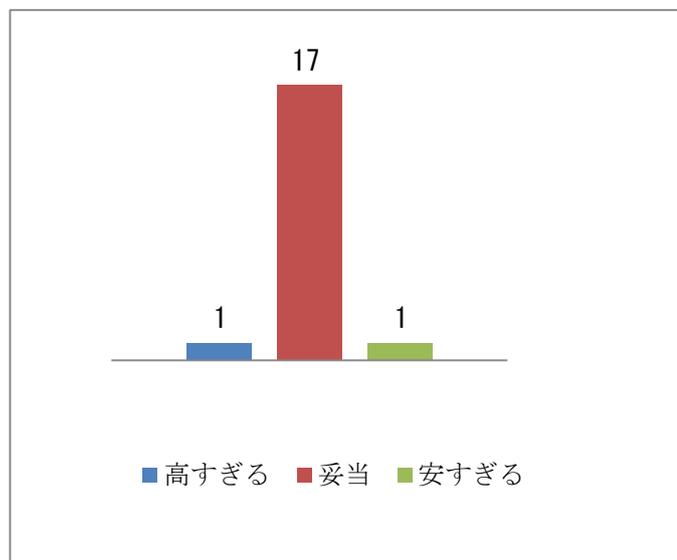
職業別



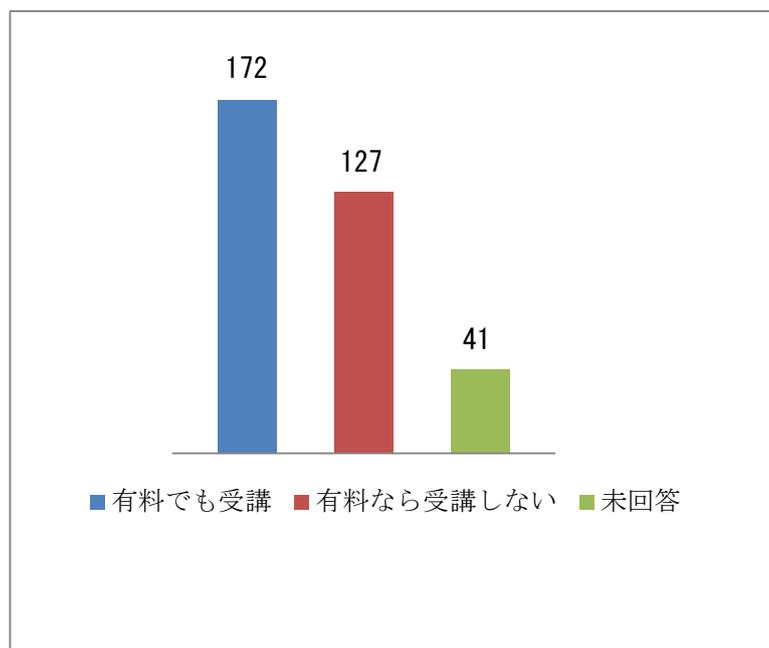
どこで本学の公開講座を知ったか



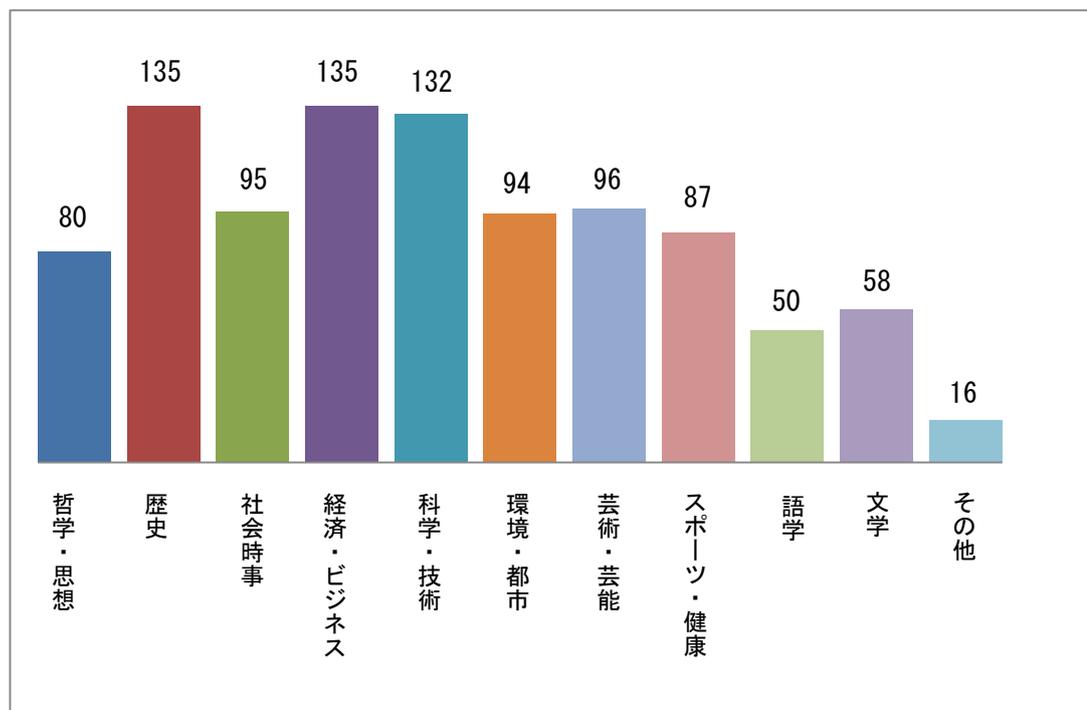
受講料について（有料講座の場合）



受講料について（無料講座の場合）



今後希望するテーマ



公開講座委員会主催

「現代社会と理工学」実施報告

◆総括

本講座は本学と読売新聞横浜支局の共催で、横浜ワールドポーターズにおいて2015年9月4日から2016年1月8日にかけて10回開催されました。

本年度のテーマは「現代社会と理工学」であり、現代社会が真に豊かでゆとりあるものにするためにはどのような科学技術が必要か、理工学が拓く未来社会と私たちとの関わりや将来展望について学ぶ講座でした。今年度は読売新聞の紙面での告知だけでなく、みなとみらいの横浜ワールドポーターズで開催するなどの要因により、10代から80代までの幅広い年齢層から212名の申し込みがありました。

実際の受講者は平均93.9名でした。そのうち6回以上出席の方は申込者の48.5%の103名であり、その受講者に修了証が授与されました。

アンケート結果を見ると受講の動機の79%は「現代社会と理工学」というテーマへの興味でした。全体で77%の受講生が「よく理解できた」あるいは「ほぼ理解できた」と回答しており、91%の受講生が「非常に有意義であった」もしくは「ある程度有意義であった」と回答しており、今回の講座に対して高い評価が得られたものと考えます。また45%の受講生は有料であっても出席すると答えており、受講動機を合わせて考えると今回のテーマへのニーズは高いといえます。

本年度の全学公開講座の実施にあたって、10人の講師の先生はもちろんのこと、熱心に受講された方々、告知や記事掲載をしていただいた支局長をはじめ読売新聞横浜支局の方、講座の実施に心から尽力いただいた事務局の皆様に深く感謝いたします。

◆申込者数 212名

◆申込者の年代

年代	10代以下	10代	20代	30代	40代	50代	60代	70代	80代	総計
人数(名)	1	6	5	4	24	31	75	54	12	212

◆受講者数（出席カード提出者数）

開催日	講師	受講者数（名）
9月4日	工学研究院 武田 穰 准教授	88
9月4日	工学研究院 小林 憲正 教授	86
10月9日	工学研究院 西 佳樹 教授	97
10月9日	工学研究院 金子 信博 教授	93
11月6日	工学研究院 前田 雄介 教授	88
11月6日	工学研究院 島 圭介 准教授	87
12月4日	環境情報研究院 根上 生也 教授	102
12月4日	環境情報研究院 片寄 祐作 准教授	103
1月8日	工学研究院 松澤 幸一 准教授	98
1月8日	工学研究院 廣澤 渉一 教授	97

◆修了証授与数 103名

全10回中、全6回出席した者に修了証書を授与

平成27年度 公開講座委員会主催主催 公開講座アンケート結果

【問1】公開講座をどこで知りましたか。(複数回答可)

公開講座パンフレット	222
新聞折込みチラシ	99
横浜国立大学ウェブサイト	213
その他の公開講座検索サイト	27
その他	118

※その他

- ・家族・友人からの紹介
- ・読売新聞記事 他

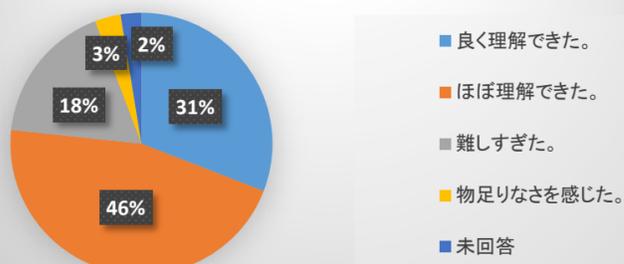
【問1】 公開講座をどこで知りましたか。(複数回答可)



【問2】講座内容について、いかがでしたか。

良く理解できた。	290
ほぼ理解できた。	430
難しすぎた。	165
物足りなさを感じた。	30
未回答	24

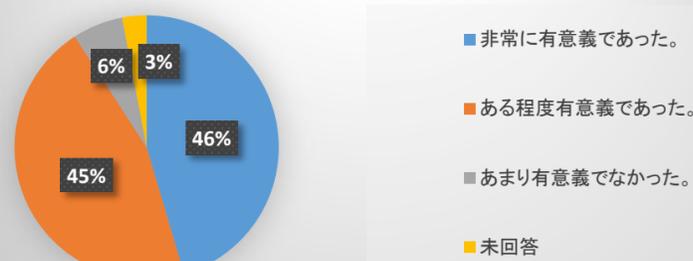
【問2】講座内容について、いかがでしたか。



【問3】受講して有意義であったと思いますか。

非常に有意義であった。	427
ある程度有意義であった。	427
あまり有意義でなかった。	58
未回答	28

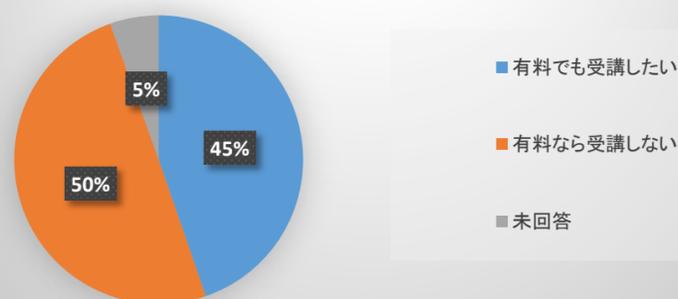
【問3】受講して有意義であったと思いますか。



【問4】次回この講義が有料の場合、受講されますか？

有料でも受講したい	279
有料なら受講しない	311
未回答	34

【問4】次回この講座が有料の場合、受講されますか？



【問5】今回の公開講座の受講動機について、教えてください。

今回のテーマに興味があったから	497
大学の先生が講義するから	77
その他	40
未回答	19

※その他

- ・新しい知識を得たいから
- ・シリーズを通して受講しているため 他

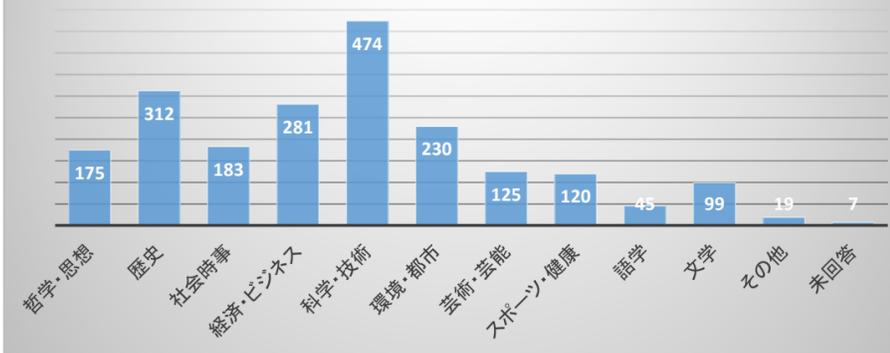
【問5】今回の公開講座の受講動機について、教えてください。



【問6】今後、どのような内容の講座を希望されますか。(複数回答可)

哲学・思想	175
歴史	312
社会時事	183
経済・ビジネス	281
科学・技術	474
環境・都市	230
芸術・芸能	125
スポーツ・健康	120
語学	45
文学	99
その他	19
未回答	7

【問6】 今後、どのような内容の講座を希望されますか。
(複数回答可)



【問7】公開講座の受講を決める際に、以下のことをどの程度重視されますか。

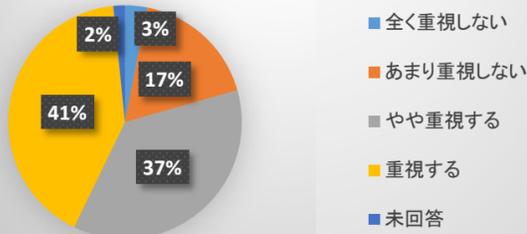
1.講座名

全く重視しない	19
あまり重視しない	109
やや重視する	227
重視する	256
未回答	10

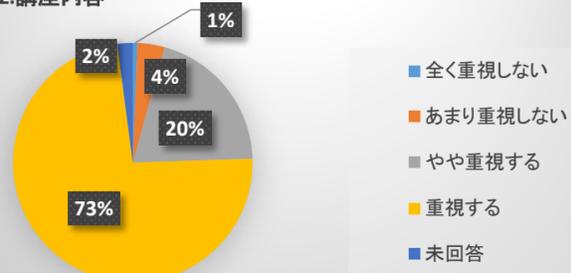
2.講座内容

全く重視しない	4
あまり重視しない	23
やや重視する	126
重視する	459
未回答	13

【問7】1.講座名



【問7】2.講座内容



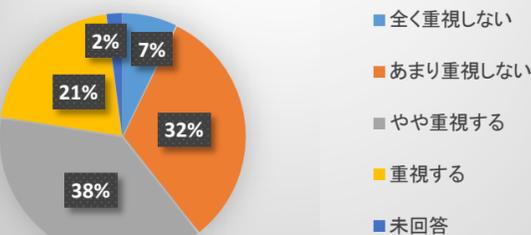
3.主催機関

全く重視しない	45
あまり重視しない	201
やや重視する	238
重視する	128
未回答	13

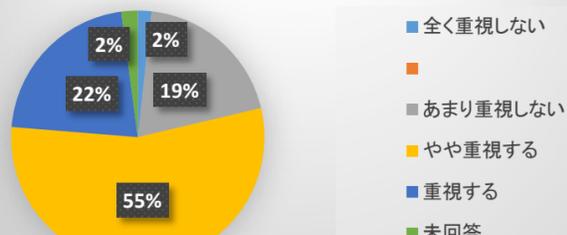
4.開催場所

全く重視しない	11
あまり重視しない	122
やや重視する	343
重視する	135
未回答	13

【問7】3.主催機関



【問7】4.開催場所



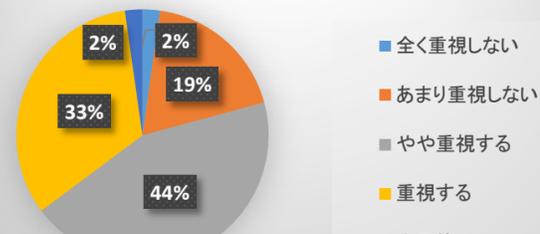
5.日程・時間帯

全く重視しない	14
あまり重視しない	116
やや重視する	275
重視する	206
未回答	14

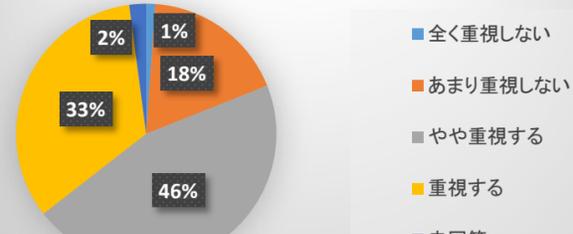
6.受講料

全く重視しない	7
あまり重視しない	111
やや重視する	283
重視する	208
未回答	13

【問7】5.日程・時間帯



【問7】6.受講料



【問8】今回の会場について、いかがでしたか。また、その理由についてお聞かせください。

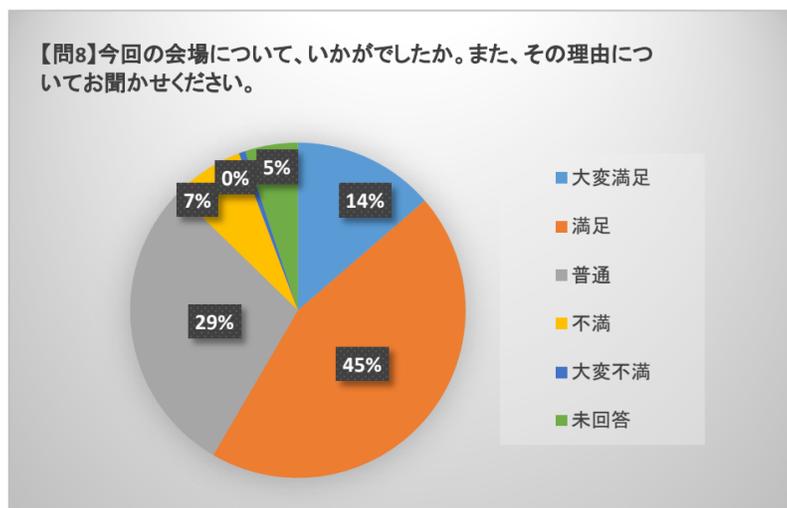
大変満足	86
満足	282
普通	182
不満	44
大変不満	4
未回答	32

(大変満足・満足の理由)

- ・交通の便が良い
- ・職場から近く、仕事を終わってからでも参加できる
- ・会場の設備が綺麗で良い

(不満・大変不満の理由)

- ・会場のスクリーンが小さくて見えない
- ・3人がけの机は狭いため不満である



【問9】 その他ご意見、ご要望がありましたらお聞かせ下さい。
(多数のご意見から一部を抜粋しました。)

(全体を通して)

- ・内容が難しいため、基礎的なところから教えてほしい。
- ・子どもに学術に関心を持ってもらうには、父兄が関心を持つことが大事。そのきっかけづくりとして良かった。
- ・毎年、有意義な講座を開催していただきありがとうございます。今後もぜひ続けてください。
- ・平日の18時では社会人は参加できない。もう少し時間を遅らせていただけませんか。

第1日目 I (講師:工学研究院 武田 穰 准教授)

- ・久しぶりに学会に出た様に感じた。面白かったが、専門的過ぎた感あり。「微生物の未知の可能性」の題から、もう少し全般的な話を期待したのですが…。
- ・YY講座、第一回目にしてあまりに専門的で目がくらみましたが、身近なあたりまえの環境の中にこそ、生活や技術につながる種があることを知りました。
- ・自分の狭い世界を少しでも広げようと参加しました。むずかしかったですけど、受講できて、良かったです。

第1日目 II (講師:工学研究院 小林 憲正 教授)

- ・我々の命の起源がどこでどうして出来たかへの感心が非常に深まりました。研究の成果が楽しみです。
- ・宇宙に関するテーマは奥が深く、興味がつきない。引き続き、開催をお願いします。
- ・わかりやすく、とてもよかったです。知的好奇心をシゲキされました！
- ・小林先生は滑舌も良く、一語一語しっかりとお話しされようとしていて、素晴らしいです。とても分かりやすく、よく分かりました。とても興味深かったです。ありがとうございました。

第2日目 I (講師:工学研究院 西 佳樹 教授)

- ・45分という短い時間の中でよくまとめられていたと思います。多少の時間オーバーもありましたが、初めて聞く内容もあり、個人的にはだいぶ満足できました。
- ・理工関連講座はあまり受講の機会もなく、今回多方面にわたる理工学講座を聴いて楽しさが増した感じがしてとても良い機会であったと感じています。今後も建築学(日本建築、外国関連の建築物のうち、中世近世現代等の建築物についても講義を希望しております。
- ・配布頂いた資料に重要な部分が空欄になっているところがあり、聞きながら書き込まなければならないため面倒であった。たぶん学生向けに眠らないように工夫したと思われそうですが、今回のセミナーでは貴重な意見を聞きたいために出席しているものですので、その必要はないと思います。

第2日目 II (講師:工学研究院 金子 信博 教授)

- ・講義内容は新鮮で驚きであった。
- ・実に興味深かった。自然を相手にする学問は面白い！
- ・土壌生物の大切さ、自然の奥深さを教えられました。ありがとうございました。親が「ミミズが耕してくれる」と言っていたことを思い出しました。
- ・目からうろこのお話でした。今後の研究期待しています。とてもたのしかったです。
- ・とても面白い話で、事態との差異が大きいので驚きの連続でした。大変参考になりました。

第3日目 I (講師:工学研究院 前田 雄介 教授)

- ・資料がとてもよくまとめられていたと思います。レジュメがなかったのは残念です。
- ・大変興味深い内容で解説も分かり易くてロボットの技術、メカニズム等がいろいろな角度から理解することが出来て良かった。
- ・興味深いお話でした。メモを取りきれなかったのが残念です。資料を配布してもらえると助かります。
- ・最近の研究の動向や人間社会とのかかわりについてもう少し話を聞きたかったです。

第3日目 II (講師:工学研究院 島 圭介 准教授)

- ・話が具体的で大変面白かった。
- ・「ロボット」の分野で、このような話が聞けるとは予想外でした。学問は広い知識が必要だと改めて思いました。
- ・とても興味深く、お話がきけて良かったです。
- ・ヒトの機能を支援できる可能性について、明るい未来を感じました。ありがとうございます。
- ・電気信号を使ったロボット技術で今後の医療技術が大きく進歩する期待ができました。ありがとうございました。
- ・ロボットの研究が、実際に人間の役に立つというのが実感できる講座で有意義でした。
- ・非常にわかりやすく、おもしろく聴講できました。

第4日目 II (講師:環境情報研究院 根上 生也 教授)

- ・時間不足ではあったが、講義で言わんとすることは大変興味深かった。内容は理解できなかったが面白くつたわってきた。数学的な考え方、論理の組み合わせを面白く伝える教育が大事だと思った。
- ・楽しい講義ありがとうございました。
- ・こういう事を一生懸命考えている若い学者がYNUにもおられること、大いに日本のために気が強くなった。ノーベル賞を何年ごろ取れそうか？という予測をもって研究をすすめているのか？…と質問がしたかったのですが。
- ・熱意ある講義で良かった。
- ・もう少し時間がとれば楽しい講義であつたらうに残念。理解できたかは別にして。
- ・パイオニアの仕事の話。おもしろかったです。紹介された本も読んでみたいです。若い人にも聞かせたい。ありがとうございました！実はこの年53になって数学を勉強したい、と思うようになりました。

第4日目 II (講師:工学研究院 片寄 祐作 准教授)

- ・宇宙線の概要がわかりました。
- ・現代または未来の社会と数学のつながりがどんなものかの話を期待していましたが、少し方向が違っていたと思う。
- ・宇宙線の強度とエネルギーのグラフで宇宙線を発生した星の磁場の強さがわかることを始め直接調査できないものをロジックをもって説明できる宇宙物理学はこれから大いに発展する分野だと思いました。
- ・一般論の説明が長すぎて、自身の研究の話が聞けなかったのが少し残念です。
- ・ていねいに説明していただいたので、難解な内容だったが、すこしは理解できた。

第5日目 I (講師:工学研究院 松澤 幸一 准教授)

- ・幅広いテーマに多くの内容を加えていただき、有難うございました。随所に今のご研究のご苦労と問題点が見え、希望をもって皆様の成果を待ちたいと感じました。
- ・講演時間が短過ぎると思います。出来れば、1時間半の時間をかけて、説明して頂きたかった。
- ・基礎知識がなく難しかった。レジュメの中の用語も未知のものが多く、基礎的な内容の講座の開催を期待します。
- ・大変よく理解できる説明でありありがとうございました。

第5日目 II (講師:工学研究院 廣澤 渉一 教授)

- ・説明が一般者向けで、わかり易かったです。研究に意欲の高い学生が集まると良いですね。
- ・わかりやすい説明で理解できた。大学での研究の様子がわかった。今回のテーマ、先生の話は有意義でした。
- ・声も大きく聞きやすかった。映像も良かった。
- ・的が絞れて、具体的、実用例の紹介もあり、比較的現状が、よくわかった。
- ・アルミの現状と今後の課題がより浮き彫りになっていて興味深かった。ありがとうございました。今後はマテリアルにも注目して自動車会社を見ていきたいですね。